

需要に即した神戸ビーフ供給力強化対策の推進状況

1 趣旨

増大する国内外の神戸ビーフの需要に応えるため、繁殖雌牛20,000頭^{めすうし}の目標達成に向けた増頭対策及び減頭抑制対策、並びに但馬牛^{うし}受精卵移植による肥育素牛増産を推進する。

また、更なる需要拡大に向け、輸出対応食肉センター整備や海外・首都圏向けPRを支援する。

2 平成27年度の繁殖雌牛の増頭実績

平成27年度は前年と同じ16,000頭にとどまった。平成18年度から平成22年度までは、年間100～400頭増頭してきたが、平成22年度以降、ほぼ横ばいで推移している。

今後とも小規模、高齢農家を中心に廃業は見込まれるものの、平成26年度以降、枝肉価格と子牛価格は過去最高水準で推移していることから、増頭意欲の回復が期待される。

繁殖雌牛頭数の推移

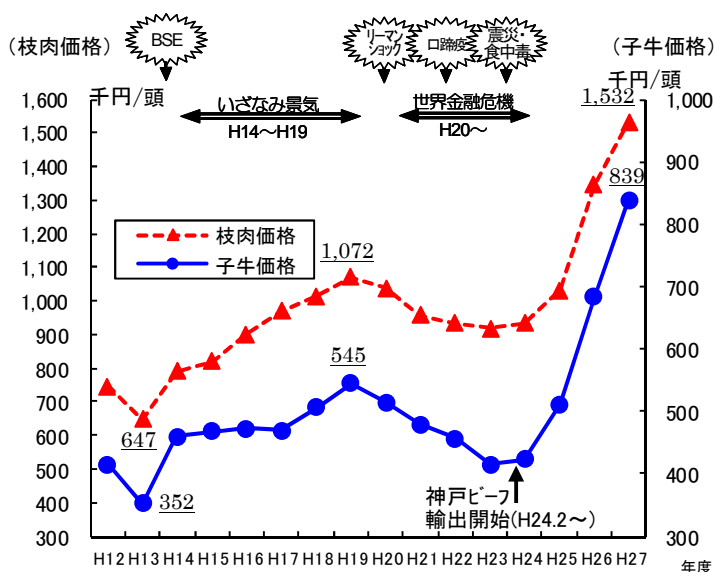
	基準 H18.2.1	18年度末	19年度末	20年度末	21年度末	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末
目標頭数		15,200	15,900	16,600	16,750	18,000	18,400	18,800	19,200	19,600	20,000
実績頭数	14,500	14,800	15,100	15,500	15,900	16,000	15,900	15,900	16,000	16,000	16,000
導入頭数①		1,720	1,870	2,035	2,120	2,170	2,058	1,895	1,742	1,522	1,434
廃用頭数②		△1,420	△1,570	△1,635	△1,720	△2,070	△2,158	△1,895	△1,642	△1,522	△1,434
増頭数①-②		300	300	400	400	100	△100	0	100	0	0

農林水産省「畜産統計」

繁殖雌牛の飼育規模別の戸数・頭数

区分	戸数			頭数			1戸あたり 頭数
	10頭未満	10頭以上	合計	10頭未満	10頭以上	合計	
基準 H18.2.1	1,667	323	1,990	5,464	9,036	14,500	7.3頭/戸
26年度末	900	440	1,340	3,897	12,103	16,000	11.9頭/戸
27年度末	825	425	1,250	3,063	12,937	16,000	12.8頭/戸
増減(27-26)	△75	△15	△90	△834	834	0	0.9頭/戸

農林水産省「畜産統計」及び県畜産課調べ



但馬牛枝肉価格と子牛価格の推移

【枝肉価格の動き】
 ※価格は景気、牛肉に関する事件・事案の影響を受ける。
 ① H13：国内BSE発生により下落
 ② H14：但馬牛は産地履歴が厳格に規定されているため、いち早く回復
 ③ H15-19：牛肉のトレーサビリティ制度の確立により全国的に上昇
 ④ H20-23：景気低迷、口蹄疫の影響等による消費減退で下落
 ⑤ H24：美味しさ等のPRによるブランド強化、輸出など各種増頭対策の充実と総合的推進の結果、V字回復

【子牛価格の動き】
 価格は枝肉価格と連動して推移し、H24以降、雌牛導入の拡充やブランド強化、輸出など各種増頭対策の充実と総合的推進の結果、V字回復し、過去最高の水準で推移

枝肉価格と子牛価格の回復により
 増頭意欲の回復が期待される

3 平成27年度の神戸ビーフ供給力強化対策の実施状況

(1) 繁殖雌牛の増頭対策

ア 増頭戦略会議の開催

県内16地域で生産者、JA、市町、県機関等で構成する増頭戦略会議を組織し、新規就農者の支援や規模拡大に向けた補助事業等の活用を推進

新規就農者の内訳

年度	独立就農	雇用就農(うち法人)	計
24	3人	5人(4人)	8人
25	1人	5人(2人)	6人
26	2人	8人(5人)	10人
27	5人	11人(8人)	16人

イ 繁殖雌牛の導入

県単事業や国補助事業を活用した繁殖雌牛の導入を支援

補助事業を活用した導入頭数

年度	県単事業	国補助事業等	計
22	600頭	473頭	1,073頭
23	600頭	454頭	1,054頭
24	700頭	460頭	1,160頭
25	800頭	368頭	1,168頭
26	797頭	243頭	1,040頭
27	760頭	248頭	1,008頭

ウ 新規就農者や規模拡大者の牛舎整備

規模拡大者に対して、国・県補助事業や制度資金を活用した牛舎整備を支援

27年度牛舎整備実績

区分	市町名	整備戸数	整備規模	備考
規模拡大	香美町	1戸	48頭	中規模牛舎の整備【県単】
規模拡大	篠山市	1戸	24頭	簡易牛舎の整備【国庫】
規模拡大	赤穂市	1戸	15頭	簡易牛舎の整備【国庫】
規模拡大	洲本市	3戸	17頭	簡易牛舎の整備【国庫】
規模拡大	淡路市	1戸	6頭	簡易牛舎の整備【国庫】
合計		7戸	110頭	

牛舎の整備状況

年度	制度資金		国・県補助事業	
22	2戸	48頭	1戸	50頭
23	0戸	0頭	2戸	118頭
24	1戸	23頭	3戸	235頭
25	0戸	0頭	3戸	116頭
26	0戸	0頭	5戸	81頭
27	0戸	0頭	7戸	110頭



規模拡大のための牛舎整備(香美町)

(2) 繁殖雌牛の減頭抑制対策

ア 但馬牛経営継承バンクの創設

新規就農者や増頭希望者等の初期投資を軽減し、更なる増頭を図るため、新たに、離農予定者から牛舎、雌牛等を継承する但馬牛経営継承バンクを創設

イ 但馬牛繁殖経営支援センターの整備推進

子牛の育成や新規参入者に対する研修施設としての機能を有する繁殖経営支援センター(こうべ育成牧場)のモデル運営を支援

(3) 神戸ビーフの増産対策

ア 酪農家における受精卵移植による但馬牛^{うし}生産

家畜保健衛生所や農業改良普及センターによる酪農家に対する但馬牛^{うし}子牛の哺育・育成技術指導などにより、受精卵移植による但馬牛^{うし}生産を支援

平成 27 年度 移植実績（県但馬牛^{うし}受精卵移植推進協議会）

酪農家所在地	加東市	赤穂市	佐用町	丹波市	計
移植頭数	5 頭	29 頭	30 頭	5 頭	69 頭
受胎頭数	2 頭	8 頭	12 頭	3 頭	25 頭

(4) 更なる需要拡大対策

ア 品質の向上

神戸ビーフ認定率 70%を目標として、県立^{うし}農林水産技術総合センターが開発した「但馬牛^{うし}肥育マニュアル」の普及定着を推進

「但馬牛^{ぎゅう}」「神戸ビーフ」の認定頭数

年度	但馬牛 ^{ぎゅう}	
	但馬牛	うち神戸ビーフ(認定率)
22	6,074 頭	3,093 頭(51%)
23	6,434 頭	3,584 頭(56%)
24	6,943 頭	3,948 頭(57%)
25	7,160 頭	4,679 頭(65%)
26	6,983 頭	5,077 頭(73%)

「但馬牛^{ぎゅう}」「神戸ビーフ」の定義

歩留等級	「A」又は「B」																	
	1			2			3			4			5					
肉質等級	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3			
脂肪交雑	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3			
ブランド	28～60ヶ月齢						雌:230～470kg、去勢:260～470kg 「神戸ビーフ」						「但馬牛 ^{ぎゅう} 」					

- ① 本県の県有種雄牛のみを歴代に亘り交配した但馬牛^{うし}を素牛とし、
- ② 繁殖から肉牛として出荷するまで神戸肉流通推進協議会の登録会員(生産者)が本県内で飼養管理し、本県内の食肉センターに出荷した牛

イ 新たな美味しさ指標の啓発

神戸ビーフの新たな美味しさ指標であるモノ不飽和脂肪酸や小ザシを啓発するため、食肉市場におけるデータ収集と表示並びに生産者への還元体制等について関係者と協議

ウ 神戸ビーフの需要拡大に向けたプロモーション活動

① 首都圏プロモーション

首都圏のホテル、レストラン、流通業者等を対象とした神戸ビーフセミナー、試食会 [H28.3 東京都 京王プラザホテル]

② 海外プロモーション

海外のレストラン、流通業者、マスコミ等を対象としたプレゼンテーション等によるPR、試食会 [H27.7 ミラノ、H27.8 ベトナム、H28.3 モナコ]

エ 輸出対応食肉センターの整備支援

神戸ビーフの本来の定義である生産から食肉処理に至る県内一貫生産体制を完備するため、欧米等向けの HACCP 対応施設として姫路市食肉センターの整備を支援

神戸ビーフの輸出実績

年度	23	24	25	26	27	合計
マカオ	22頭(1.1t)	91頭(4.2t)	55頭(2.6t)	78頭(3.2t)	32頭(1.4t)	278頭(12.5t)
香港	—	68頭(9.2t)	200頭(17.1t)	173頭(12.9t)	81頭(10.2t)	522頭(49.5t)
米国	—	8頭(0.5t)	36頭(3.3t)	65頭(3.9t)	59頭(2.7t)	168頭(10.4t)
タイ	—	—	11頭(0.5t)	22頭(1.5t)	22頭(1.2t)	55頭(3.2t)
シンガポール	—	—	42頭(2.7t)	52頭(5.8t)	62頭(4.7t)	156頭(13.2t)
ベトナム	—	—	—	4頭(0.6t)	11頭(0.9t)	15頭(1.5t)
EU圏*	—	—	—	310頭(21.2t)	300頭(19.1t)	610頭(40.3t)
カナダ	—	—	—	1頭(0.1t)	4頭(0.2t)	5頭(0.2t)
ロシア	—	—	—	1頭(0.1t)	2頭(0.1t)	3頭(0.1t)
合計	22頭(1.1t)	167頭(13.9t)	344頭(26.2t)	706頭(49.1t)	573頭(40.4t)	1,812頭(130.9t)

※ ドイツ、モナコ、デンマーク、ベルギー、オランダ、フランス、スイス、イギリス、スペイン

4 平成 28 年度の神戸ビーフ供給力強化対策の取組

増大する国内外の神戸ビーフの需要に応えるため、既存事業の継続実施に加え、^{うし}但馬牛生産基盤の強化対策や需要拡大に向けた海外及び首都圏におけるプロモーションなど、各種増頭対策を推進する。

(1) 繁殖雌牛の増頭対策の推進

ア 新規就農と雇用就農からの独立支援

農業大学校生や雇用就農者に対して、就農支援制度や経営モデル等の情報を発信

イ 繁殖雌牛の導入

繁殖雌牛の導入補助枠を 800 頭から 900 頭に拡充

ウ 新規就農者や規模拡大者の牛舎整備

牛舎整備計画

区分	市町名	整備戸数	整備規模	備考
新規就農	養父市	1 戸	60 頭	畜産クラスター事業【国庫】
新規就農	香美町	1 戸	40 頭	畜産クラスター事業【国庫】
規模拡大	養父市	1 戸	100 頭	畜産クラスター事業【国庫】
規模拡大	香美町	1 戸	100 頭	畜産クラスター事業【国庫】
規模拡大	淡路市	1 戸	14 頭	中規模牛舎の整備【県単】
合計		5 戸	314 頭	

(2) 繁殖雌牛の減頭抑制対策の推進

ア 但馬牛^{うし}経営継承バンクの活用推進と牛舎改修支援

経営継承バンクへの登録と就農希望者とのマッチングを推進するとともに、継承牛舎の改修を支援

イ 但馬牛^{うし}繁殖経営支援センターの整備推進

子牛の育成や新規参入者に対する研修施設としての機能を有する繁殖経営支援センター(こうべ育成牧場)のモデル運営を支援し、他地域での整備を推進

(3) 神戸ビーフの増産対策の推進

ア 受精卵移植による神戸ビーフ素牛の生産拡大

酪農家への普及を進めるとともに、新たに、交雑種肥育経営における交雑種雌牛への移植を開始し、受精卵移植による但馬牛の生産拡大を図る。

また、畜産技術センターによる受精卵供給(100個/年)や、県但馬牛受精卵移植推進協議会への供卵牛導入を支援し、受精卵供給体制を強化する。

平成28年度 受精卵移植計画(県但馬牛受精卵移植推進協議会)

農場所在地	畜種	移植予定頭数
加東市	乳用種	5頭
赤穂市	乳用種	30頭
佐用町	乳用種	30頭
丹波市	乳用種	5頭
小野市	乳用種	10頭
神戸市	乳用種	30頭
加古川市	交雑種	15頭
その他	乳用種	45頭
合計		170頭

(4) 更なる需要拡大対策の推進

ア 美味しさ指標の表示体制の確立

食肉市場において神戸ビーフの美味しさ指標であるモノ不飽和脂肪酸などの測定機器整備を支援する。また、生産者への還元体制や食肉市場における表示体制を確立する。

イ 神戸ビーフの需要拡大に向けたプロモーション活動

① 首都圏プロモーション

ホテルやレストランにおける神戸ビーフセミナー、試食会 [H28.9 東京(予定)]

② 海外プロモーション

フィリピン等新たな輸出先におけるプレゼンテーションによるPR、試食会
[H28.9~12(予定)]

ウ 輸出対応食肉センターの整備支援

神戸ビーフの本来の定義である生産から食肉処理に至る県内一貫生産体制を完備するため、欧米等向けの HACCP 対応施設として姫路市食肉センターの整備を支援 (H27~28)

〈問い合わせ先〉

農政環境部農林水産局畜産課肉用牛振興班 TEL 078-362-3454